

事務事業チェックシート

事務事業No **338** 事業名 **特定感染症（性感染症・肝炎）予防事業（性感染症の抗体検査、肝炎ウイルス検査）**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
事項		特定感染症予防事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
基本方針	1	結核予防とまん延防止対策の充実

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年	～	
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	小浦保則 (488-5115)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
				○
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
事業概要	市民に対して国が策定する「特定感染症予防指針」に基づき、性感染症や肝炎の知識の啓発を図る。また、感染の早期発見・治療のための検査や相談事業を実施し、感染の予防及びまん延の防止を図る。	一般市民を対象に特定感染症予防に関すること（相談・検査・啓発等）を実施 1 性感染症抗体検査・相談（相談は随時実施）。エイズ検査と同時に実施、予約制。 実施内容 クラミジア・トラコモテイス(IgA/IgG)抗体検査 梅毒血清反応検査(RPR法・TPHA法) 2 肝炎ウイルス検査・相談（検査は実施対象者あり。相談は随時実施） ア) 保健所内肝炎ウイルス検査 実施内容 HBs抗原・HCV抗体検査 実施日時 毎月第3水曜日 午前9時～午前11時 イ) 医療機関委託肝炎ウイルス検査 委託医療機関にて無料の肝炎ウイルス検査を受けることができる。 3 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施内容	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモテイス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモテイス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモテイス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモテイス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施 4 肝炎ウイルス陽性者の状況把握及び未受診者への受診勧奨	1 市民を対象にHIV抗体検査と合わせて性感染症（クラミジア・トラコモテイス抗体検査・梅毒血清反応検査）の検査及び相談を実施 2 肝炎ウイルス検査の実施及び肝炎相談窓口を開設 3 特定感染症予防の普及啓発の実施	

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,892	1,660	1,967	2,035	1,919	1,935	1,814		1,814	
伸び率 (%)	-	-	4.0%		-2.4%		-5.5%		0.0%	
人件費	常勤職員	8,248	6,593	8,248	5,543	8,248	6,700	8,248	8,248	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	8,248	6,593	8,248	5,543	8,248	6,700	8,248	8,248		
国庫支出金	939	973	972	1,145	925	913	845		845	
県支出金	30	30	30	30	30	35	52		52	
市債	0	0	0	0	0	0	0		0	
その他	2	0	2	2	2	0	0		0	
一般財源（税等）	921	657	963	858	962	987	917		917	
所要人数	常勤職員	1.08	0.87	1.08	0.75	1.08	0.88	1.08	1.08	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	検査分析委託料 637千円、手数料 1,019千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	検査・相談の啓発の種類	年度目標値							
		実績値			3	5	7		
	単位	種類	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度				
						年度目標値			
成果指標	検査相談数	年度目標値			750	750	750	750	750
		実績値			808	1,040	909		
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度	107.7%	138.7%	121.2%	
						年度目標値			
					実績値				
					年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現状のまま維持継続するが、若年層への性感感染症予防について充実を図る。
「見直し」 「改善」案	10代から20代前半の梅毒が増加傾向のため、若年層に対する啓発を強化し、受検者の増加を図る。